



6月半ばから夏の太平洋高気圧が強まり、広く晴れて猛暑が続いています。梅雨前線が消える!?!という珍しい状況も見られました。東海地方では例年よりかなり早く、7月上旬には梅雨明けになりそうです。すでに猛暑の夏が始まっています。室内ではエアコンを使用するなど、万全な熱中症対策をお願いします。梅雨の期間にしっかりと雨が降ることがなかったので水不足の懸念もあります。一方、台風や熱帯低気圧の発生による大雨への備えも忘れてはなりません。年々穏やかな季節が少なくなりまた社会にも不穏な気配が漂っているように感じます。せめて日々の生活は、家庭でも職場でも寛容な心持ちでお互いを思いやり、助け合って過ごしたいものです。

三島市では、「地域の安全は地域で守る」という意識のもと、自治会、学校、地元ボランティアなど地域が一丸となって犯罪の起こりにくいまちづくりを進めています。ひとり一人が日頃から注意し合い安心安全な明るいまちをつくるのが大切です。夏の夜は特に屋外での犯罪に巻き込まれる危険が大きくなります。人の目が届かない暗い場所をつくらないう、家の玄関灯・門灯を点灯する「一軒一灯運動」の実施や防犯灯に枝葉がかからないよう切る等、皆さんのご協力をお願いします。また、防犯灯の不具合を見つけた時は、地域協働・安全課までご連絡ください。(電話 983-2701)

三島市長 豊岡 武士

『2025年度SDGs未来都市』(内閣府)に選定!

～富士・箱根の自然を未来につなぐガーデンシティみしま～

このたび、内閣府が実施・選定する「SDGs未来都市」に三島市が選ばれました。これは、経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組や地域における自律的好循環の掲載などに先進的に取り組む自治体を国が毎年選定しているもので、静岡県内では静岡、浜松、富士等6市が選定されています。これまで、ガーデンシティみしまの取組を通して様々なSDGsの推進を図ってきましたが、改めて今後5年間の計画を申請したところ、未来都市に選定していただいたものです。

市民や地域、企業と連携して、水や緑の保全活動をはじめ花を活用した美しく品格のあるまちづくりを進めることで、自然環境を守り、未来に繋ぎながら、地域経済の発展や市民の皆様の郷土愛の醸成、ウエルビーイングの向上につなげていくものです。

《5年間の計画の概要》

「富士・箱根の自然を未来につなぐガーデンシティみしま」

【経済】水と緑を活用した交流とにぎわいの創出

- ・三島駅南口周辺整備
- ・市街地のリノベーションとウォークアブルなまちづくり

【社会】水と緑の価値を高める官民連携、コミュニティの強化

- ・地域で子育てを支える体制づくり
- ・環境整備を支える市民団体との連携

【環境】水と緑を保全する循環型社会の形成

- ・フリーマーケットアプリ「メルカリ」の活用による粗大ごみなどのリユース
- ・森林保全とJクレジットの創出 など



三島市長 豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail: toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ http://www.toyooka-takeshi.jp/

トピックス みしま

◇ 熱中症に注意しましょう

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！
こまめに水分・塩分を補給し、扇風機やエアコンで温度を調整し、
外出する時には日傘や帽子を着用するなどして、各自の体力に合
わせて適度に休憩をとりましょう。

熱中症とは？

高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分の
バランスが崩れ、体温調整機能がうまく働かなくなり、体内に
熱がこもった状態です。屋外だけでなく屋内でも発症し、救急
搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

こんな症状があったら熱中症を疑いましょう

- 1 軽度…めまい、立ちくらみ、筋肉痛、大量の発汗
- 2 中度…頭痛、吐き気、倦怠感、虚脱感
- 3 重度…意識がない、けいれん、高体温、呼びかけへの返事が
おかしい、まっすぐに歩けない

注意1 暑さの感じ方は人によって異なります！

暑さに対する抵抗力は個人によって異なります。自分の体調
の変化に気をつけ、万全の予防を心がけましょう。

注意2 高齢者や子どもは特に注意が必要です！

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対する体の調整機能も低下しています。また子どもは
体温調節機能が十分発達していないため、高齢者と同じく熱
中症のリスクが高くなります。周りに高齢者や子どもがいる
人は、部屋の温度をこまめ測る、のどが渴かなくても水分補
給を促すなど、気を配るよう心がけましょう。

注意3 節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないように！

熱中症になった時の処置は？

- 1 涼しい場所へ避難させる
- 2 衣服をゆるめ、体を冷やす
- 3 水分・塩分を補給する



*自力で水を飲めない、意識がない場合は救急車を呼びましょう！

◇ 家族介護教室 in 順天堂大学

三島市では、社会福祉法人、医療法人等の団体にご協力いただき、
高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減や
要介護高齢者の自宅での生活の継続、向上を図るため、適切な介護
知識・技術、外部サービスの適切な利用方法の習得などを内容とし
た教室を実施しています。家族を介護している人のほか、将来に備
えて学びたい人にもご参加いただけます。

今回は、大学教員が講師となり「移動・移乗のきほんと用具の活用」
をテーマに、効率的な介護方法について実習を含めて学びます。

日 時：8月6日（水） 午前10時～正午

会 場：順天堂大学保健看護学部 （三島市大宮町 3-7-33）

講 師：順天堂大学保健看護学部教授 横山悦子さん

持ち物：かかとのある室内履き、動きやすい服装

定 員：20名 ※応募多数の場合は抽選になります

申込み：7月18日（金）まで 長寿政策課へ（電話 983-2759）

◇ 三嶋大祭り みしまサンバパレードに参加しよう！

8月15日（金）～17日（日）開催の三嶋大祭り。3日目の17日（日）
には「みしまサンバパレード」が行われます。あなたも『みしまサ
ンバ』の踊りを覚えてパレードに飛び入り参加しませんか。
みしまサンバ振興会では、踊りの講習会を開催します。申込不要、
どなたでも楽しく簡単に踊れます。是非、講習会においでください。

【講習会】 申込不要。参加は無料です。

日 時：7月18日（金）、19日（土） 午後7時～9時

会 場：三島市民体育館 多目的室

持ち物：運動の出来る服装、シューズ

問合せ：みしまサンバ振興会事務局（三島市観光協会内）

TEL.055-971-5000

【三嶋大祭り3日目・8月17日（日）】

◎みしまサンバパレードへの飛び入り!!

◎大盆踊り大会（三嶋大社境内）参加!!



大人も子供も、楽しく踊って三嶋大祭りを盛り上げよう